| 事業所名 | | 児童発達支援事業所 ポラリスひろば人見教室 | | | 支援プログラム | | | 作成日 | 2024 年 | 11 月 | 28 日 |
|------|---|---|---|-------|---------|-------|---|---|--------|------|------|
| | 法人(事業所)理念 | 友達と共に楽しみながら成長する。 | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | ・運動や遊びを通じて楽しみながら成長発達を支援します。 ・自ら学ぶ力、考えて行動する力、そして生きる力を育てます。 ・コミュニケーション能力を育て、社会性、集団活動を学びながら、集団で過ごすことの楽しさを味わい、共有します。 | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日土曜日・祝日 | 9 時 | 0 分から | 18 時 | 0 分まで | 送迎実施の有無 | あり なし | | | |
| | | 支援内容 | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ・排泄や衣類の着脱、保育園や幼稚園の支度に必要な行動をスモールステップで身に付けることができるよう支援します。 ・スケジュールを掲示、タイマーや絵カードを活用して、場面の切り替えや見通しを持って安心して過ごすことができるようにします。 ・運動や外出行事に参加して適度な疲れを感じることで、生活リズムの安定を図ることができるよう支援します。 | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | ・遊びや動物歩き、粗大運動を通して、様々な体の感覚の成長を促します。 ・指先トレーニングやビジョントレーニング等、興味関心に合わせた課題を提供し、目と手や体をスムーズに動かすことができるよう支援します。 | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | ・集団活動の中で個々の特性に配慮しながら、集団でのコミュニケーションや振る舞いを学ぶことができる環境設定をします。 ・個々に合わせた課題を通して形、色、長さ、大きさ等の様子を言葉と結びつけながら抽象的な概念を学ぶ機会を作ります。 ・数量や数字の順番等、数に関することを学べるようにします。 | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | ・言葉を聞いて行動することや、見たものや経験したことを言葉で表現することを学ぶ機会を作ります。 ・自分のしたいことを伝える、手伝ってほしい時に援助を求める等、生活の中で自分自身を大切にするために必要な行動を適切な場面で発信できるよう支援します。 ・「なぞる」「聞く」「発信する」等、楽しみながら文字に親しむ機会を設けます。 | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | ・コミュニケーションが発生する活動を通して、対人関係の発達を支援します。 ・ごっこ遊びやルールのある活動に参加し、役割やルールに応じた行動を身に付け、スムーズに集団参加できるように支援します。 ・適切な行動や強みに注目して、肯定的な働きかけをすることで、他者と過ごす楽しさを経験してもらいます。 | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | ・送迎時や面談を通じて、発達状況や支援ニーズの確認を行います。 ・療育場面を参観する機会を設け、取り組みや支援経過を共有し、 所できるようにします。 | | | | 移行支援 | ・必要に応じて、就学予定の小学校との情報共有をします。 ・公園や地域の行事等への参加で、地域との繋がりに向けた町 います。 | | | | |
| | 地域支援・地域連携 | | R育園、幼稚園、相談支援事業所、医療機関等と情報共有を行い、より良い りができるよう連携を図ります。 | | | | 職員の質の向上 | ・外部研修や毎月の社内研修に参加し、専門性を高めます。 ・毎日のフィードバックや隔週の職員会議等で、支援方針や支援経過を共 有します。 | | | |
| | 主な行事等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | | | | | | | | | | |